※2021 年 10 月 18 日現在の情報です。今後変更となる場合もございます。

旅行企画担当者様　　全７枚

第 56 回 京の冬の旅　非公開文化財特別公開　について

公益社団法人京都市観光協会

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度で５６回目を迎える京都市・京都市観光協会主催の「**京の冬の旅**」**非公開文化財特別公開**の概要についてお知らせいたします。ツアー企画等にご利用いただけましたら幸いです。

★「第５６回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開」は、個人・団体ともインターネットからの「**予約優先**」制（当日受付で空きがあれば拝観頂けます）で公開予定
当日は、予約頂いた受付開始時間までに受付へお越しください。時間を過ぎても入場可能ですが、お客様の来場状況により、入口でお待たせすることがありますのでご了承ください。
以下からお申込みください。

予約サイトは旅行会社様向けに先行して 10/5（火）〈予定〉より公開（11 月下旬より個人客向けにも公開予定）
＊但し「醍醐寺五重塔」の予約については、予約１件あたりの人数を５名様までに制限して 11 月下旬～の個人客向けと同時に予約受付を開始します

予約サイト URL：https://select-type.com/rsv/?id=OKHmNVvvr10&c_id=163549

アクセスにはパスワードが必要です

拝観希望日・時間、人数や参加形態を選択　→　ツアー名（団体名）、御社名（グループ名）、ご担当者様名、ご連絡先電話番号、メールアドレス 等をご入力ください。

※なるべく時間に余裕を持った行程を組まれますようお願いいたします。
※募集ツアーで不催行が決まった場合や、時間・人数変更については、原則、予約日の 21 日前の 17：00 まで（西本願寺書院・醍醐寺五重塔をのぞく）に、キャンセルや変更処理を行ってください（キャンセルについては決定次第なるべく早めのキャンセル処理をお願いします。）。また万が一、その後、時間・人数に変更があった場合は京都市観光協会（誘致事業課　075-213-0020）までご連絡ください。

〇お問合せ先
公益社団法人京都市観光協会　誘致事業課
TEL：075-213-0020（誘致事業課　直通　平日のみ）　FAX：075-213-1011

- ご拝観の際にはマスクの着用をお願いいたします。
- 体調不良もしくは 37.5 度以上の熱がある場合は、ご拝観をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- 拝観前にアルコールにて手消毒をお願いいたします。
- 拝観に際しては係員の案内に従っていただきますようお願いいたします
- その他、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いします。

靴を脱ぐ必要のある場所には靴棚を設置しておりますが、靴間違い防止のため「靴袋持参」をお勧めしております。※プラスチックゴミ削減のため靴袋配布は行いません

※いずれの公開箇所も、都合により拝観・見学できない日や時間帯が生じる場合があります。
※今後のコロナウイルス感染拡大状況の推移や社会情勢等によっては、拝観休止や内容・期間等一部変更とさせて頂く場合もございますこと、予めご了承ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　内容・みどころ　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【京の冬の旅 非公開文化財特別公開】 *～秘められた京の美をたずねて～*

２０２０年１２月、ユネスコ無形文化遺産に**「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」**が登録されました。また２０２２年は**茶人・千利休生誕５００年、茶人・織田有楽斎没後４００年**にあたります。
第５６回「京の冬の旅」では、**「建築の美」**と**「茶人ゆかりの禅寺」**をテーマとし、通常非公開の文化財を期間限定で特別公開いたします。高度な技によって受け継がれてきた、文化財の宝庫・京都が誇る国宝・重要文化財級の「建築の美」と、利休や有楽斎、織部など茶人ゆかりの寺院を中心に、**「京の冬の旅」初公開の文化財**を含む**１４ヶ所**での特別公開です。

「伝統建築工匠の技　木造建造物を受け継ぐための伝統技術」
木工や左官、瓦屋根や茅葺き屋根、建具や畳の製作のほか、建物の外観や内装に施す装飾や彩色、漆塗りなど宮大工や左官職人らが古くから継承してきた 17 分野の技術の価値が世界的に認められたもの。京都に残る歴史的建造物は、各時代の職人技により守られてきたこと、その高度な技に光を当てる「京の冬の旅」です。

■公開期間　　２０２２年1月８日（土）～3月１８日（金）
＊建仁寺 正伝永源院：３月３日（木）は１１：００～の公開
＊智積院：２月２８日（月）までの公開。【1期】と【2期】で特別公開の内容が変わります。
【1期】１月８日（土）～３０日（日）／【2期】１月３１日（月）～２月２８日（月）
＊東福寺 三門：３月６日（日）までの公開
＊東福寺 法堂・東司：３月６日（日）までの公開
＊大徳寺 聚光院：１月２０日（木）・２７日（木）・２８日（金）、２月２日（水）・２７日（日）・２８日（月）、３月９日（水）は拝観休止
＊大徳寺 大光院：１月１７日（月）～の公開。２月１５日（火）～１８日（金）は拝観休止
＊醍醐寺 三宝院：１月１４日（金）は拝観休止
＊僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院：１月２５日（火）～３月１４日（月）の期間中設定日（設定日は別紙カレンダー参照）
＊僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔：１月２９日（土）・３０日（日）、２月２７日（日）・２８日（月）、３月１２日（土）・１３日（日）の計６日間の公開

その他法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。最新情報は京都観光Naviホームページ「京の冬の旅」（１１月下旬頃公開予定）で随時更新　https://ja.kyoto.travel/

■公開時間　　１０：００～１６：３０（１６:００受付終了）
＊智積院は、9:００～１６：３０（１６：００受付終了）
＊仁和寺 御殿・庭園は、１・２月 9：００～１６：３０（１６：００受付終了）、３月 9：００～１７：００（１６：３０受付終了）
＊東本願寺 御影堂門は、１・２月 １０：００～１６：００（１５：３０受付終了）、３月 １０：００～１６：３０（１６：００受付終了）
＊東寺 五重塔は、８：３０～１７：００（１６：３０受付終了）
＊醍醐寺 三宝院は、１・２月 9：００～１６：３０（１６：００受付終了）、３月 9:００～１７：００（１６：３０受付終了）
＊僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院は、１０：００～／１１：００～／１３：３０～／１５：００～（１日４回）各所要約６０分（定員４０名程度）
＊僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔は、１０：００～１５：００の間で３０分おきのご案内（１日１１回）各所要約３０～４０分（定員３０～４０名程度）

■料　　金　　１ヶ所　大人（中学生以上）８００円／小学生４００円（１５名以上の団体は１割引）
＊智積院は、大人（中学生以上）９００円／小学生４００円（通常公開部分を含む）で、１５名以上の団体は１割引。
＊仁和寺 御殿・庭園：大人（大学生以上）１，０００円／高校生以下 無料（通常公開部分を含む）で、１５名以上の団体は大人のみ９００円　※但し霊宝館との共通券やその他割引との併用は不可
＊東寺 五重塔は、大人（大学生以上）８００円／高校生７００円／小中学生５００円（通常公開部分を含む）で、３０名以上の団体は１割引。

＊醍醐寺 三宝院：大人（中学生以上）８００円／小学生無料 団体割引なし 別途通常拝観料要（※１）
＊僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院：小学生以上　１名当り２，５００円　団体割引なし
＊僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔：小学生以上　１名当り１，５００円　団体割引なし 別途通常拝観料要（※１）

（※１）醍醐寺 三宝院、醍醐寺 五重塔については別途、「三宝院庭園・伽藍エリア ２ヶ所」通常拝観料要（大人１，０００円／中高生７００円／小学生無料、団体２０名以上大人８００円／中高生６００円、但し２月２３日は行事のため通常拝観料なしで拝観可）

＊＊

○対象箇所と見どころ（１４ヶ所）

※都合により、寺宝等展示物の内容が変更となる場合がございます。

建仁寺（けんにんじ） 正伝永源院（しょうでんえいげんいん）

～没後４００年記念　大名茶人・織田有楽斎ゆかりの寺～

織田信長の弟で、没後４００年を迎える大名茶人・織田有楽斎（おだうらくさい）の菩提所（ぼだいしょ）。壁に古い暦を貼っていることから別名「暦張席（こよみばりのせき）」で知られる国宝の茶席「如庵（じょあん）」が復元されており、「有楽囲（うらくがこい）」「有楽窓（うらくまど）」など有楽斎好みの特徴を見ることができる。蓮の花と鷺（さぎ）や燕（つばめ）などの鳥を描いた狩野山楽（かのうさんらく）筆の美しい金碧（きんぺき）の襖絵「蓮鷺図（れんろ）」や、狩野洞雲（とううん）（益信（ますのぶ））筆「観音図（かんのん）・雲龍図（うんりゅう）・虎図（とら）」三幅対の軸など寺宝もみどころ。
※期間中展示替えあり　※３月３日（木）は１１：００～の公開

★大型Ｐ：なし（川端通にて路上乗降）　★拝観所要時間：約 30 分（乗降場所から片道徒歩約５分）

智積院（ちしゃくいん） 密厳堂・三部権現社・求聞持堂は京の冬の旅初公開

～桃山文化を伝える 華麗なる障壁画と庭園～

長谷川等伯（はせがわとうはく）筆の「楓図（かえでず）」やその息子・久蔵（きゅうぞう）の「桜図（さくらず）」など、桃山文化を代表する豪華な障壁画（国宝）を伝える真言宗智山派（ちさんは）の総本山。

【１期の特別公開】境内最古の建物・密厳堂（みつごんどう）や、三部権現社（さんぶごんげんしゃ）拝殿の天井画「龍図（りゅうず）」、求聞持堂（ぐもんじどう）の本尊など境内最奥の秘められたエリアを公開。**【２期の特別公開】**貴賓館にあたる宸殿（しんでん）の、京都画壇の巨匠・堂本印象（どうもといんしょう）筆「婦女喫茶図（ふじょきっさず）」などの障壁画を公開。
※２月２８日（月）までの公開【1 期】１/８～３０、【2 期】１/３１～2/２８で特別公開の内容が変わります。

★大型Ｐ：智積院駐車場　★拝観所要時間：約 50 分（駐車場から受付まで片道徒歩約 2 分）

東福寺（とうふくじ） 法堂（はっとう）・東司（とうす）

法堂は「京の冬の旅」初公開、東司は「京の冬の旅」１５年ぶりの公開

～堂本印象の「蒼龍図」と重要文化財のトイレ！～

鎌倉時代に九條道家（くじょうみちいえ）が創建した臨済宗東福寺派の大本山。昭和９年再建の法堂は、昭和期の木造建築としては最大級の建物で、京都画壇の巨匠・堂本印象（どうもといんしょう）がわずか１７日間で描いたという天井画「蒼龍図（そうりゅうず）」が残る。東司（重文）は、室町時代に建てられた、日本に現存する最古最大の禅宗寺院便所である。手巾（しゅきん）や桶（おけ）を持って用を足すのも修行（しゅぎょう）の一つとされ、室町から明治時代に至るまで実際に使用されていたという。
※３月６日（日）までの公開

★大型Ｐ：なし（九条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 35 分（乗降場所から受付まで片道徒歩約 10 分）

東福寺 三門　京の冬の旅５年ぶりの公開

～国宝に登る！　楼上に広がる浄土の世界～

かつて「東福寺の伽藍面」と称されたほど壮大な伽藍を誇った禅刹・東福寺に、今も残る中世の貴重な禅宗建築の一つが三門（国宝）である。足利四代将軍義持によって再建された、禅宗三門としては日本最古で最大の門。高さ約２２ｍ、市内一望の楼上には宝冠釈迦如来像や十六羅漢像を安置し、画僧・明兆（兆殿司）らによる極彩色の飛龍や天女などが描かれた荘厳な空間が広がる。

※３月６日（日）までの公開

★大型Ｐ：なし（九条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 30 分（乗降場所から受付まで片道徒歩約 10 分）

大徳寺 聚光院

～生誕５００年の茶聖と天才絵師　美の競演～

永禄９年（1566）、武将・三好長慶の菩提を弔うために創建。茶人・千利休と茶道三千家の菩提寺である。方丈（重文）は、桃山の画壇を風靡した絵師・狩野永徳と、その父松栄の「花鳥図」「瀟湘八景図」「琴棋書画図」など国宝の障壁画（複製）で飾られている。永徳の下絵を元に、利休が作庭したと伝わる「百積の庭」（名勝）や、茶室「閑隠席」（重文）と「桝床席」（重文）の二つの名席もみどころ。

※１月２０日（木）・２７日（木）・２８日（金）、２月２日（水）・２７日（日）・２８日（月）、３月９日（水）は拝観休止

★大型Ｐ：大徳寺駐車場　★拝観所要時間：約 35 分（駐車場から受付まで片道徒歩約 5 分）

大徳寺 大光院　「京の冬の旅」初公開

～豊臣秀長の菩提寺に残る三武将ゆかりの茶席～

豊臣秀吉の弟・秀長の菩提寺として奈良・大和郡山に創建され、後に大徳寺山内に移された。客殿を飾る「雲龍画」の襖絵は、奥州・伊達家伝来の狩野探幽筆の屏風を襖に直したものと伝わる。また「蒲庵」は、黒田如水（官兵衛）好みの茶室。現在の茶室は移築されたものだが、もともとこの茶席についた露地に、如水の子・黒田長政と加藤清正、福島正則の三武将がそれぞれ一つずつ石を寄進したということから「三石の席」とも称される。

※１月１７日（月）～の公開　２月１５日（火）～１８日（金）は拝観休止

★大型Ｐ：大徳寺駐車場または北大路通で路上乗降　★拝観所要時間：約 30 分（駐車場から受付まで片道徒歩約 10 分）

西陣 興聖寺　「京の冬の旅」40 年ぶりの公開

～武将茶人・古田織部ゆかりの禅寺～

臨済宗興聖寺派の本山で、茶道織部流の祖でもある武将・古田織部との関わりから「織部寺」とも呼ばれる。江戸時代に建てられた本堂（仏殿）には天井に「雲龍図」が描かれ、本尊・釈迦如来像や武将・藤堂高虎の寄進と伝わる達磨像が安置されている。青が印象的な海中写真の襖が奉納された方丈や、茶室「雲了庵」、地面を深く大きく掘り下げ螺旋状の石段を降りた先に手水鉢を据えた「降り蹲踞」もみどころ。

★大型Ｐ：なし（堀川通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 35 分（乗降場所から受付まで片道徒歩約 1 分）

報恩寺　「京の冬の旅」８年ぶりの公開

～令和４年は寅年　秀吉ゆかりの「鳴虎」のある寺～

「鳴虎」の通称で知られる寺院。鎌倉時代の伝快慶作の本尊・阿弥陀三尊像や、「撞かずの鐘」と呼ばれ悲話を伝える平安時代後期の梵鐘（重文）など貴重な寺宝が残る。不思議な逸話をもつ「鳴虎図」は、明の画人・四明陶佾が毛の一本一本まで細密な筆致で描いた虎の掛軸で、【１期】の期間は「鳴虎図」原本を展示、【２期】の期間は「鳴虎図」複製のほか、通常博物館に寄託されておりお寺での公開は初となる「大黒天像」（重文）も特別展示される。

※【1期】１/８～１６、【2期】１/１７～３/１８で展示替えあり

★大型Ｐ：なし（堀川通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 30 分（乗降場所から受付まで片道徒歩約 4 分）

仁和寺 御殿・庭園　「京の冬の旅」18 年ぶりの公開

～「名勝」指定記念　御殿庭園が回遊式に！～

真言宗御室派の総本山で、世界文化遺産。代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、日本画家・原在泉や堂本印象の襖絵が残る「宸殿」「白書院」「黒書院」など「御殿」と呼ばれる建物群は、回廊で結ばれ御所に似た風情を漂わせる。今冬、七代目小川治兵衛作の「北庭」と白砂敷きの「南庭」からなる「仁和寺御所庭園」が、２０２１年３月に国の名勝に指定されたことを記念し、建物内からの観賞式であった庭園に下りて特別回遊ルートで拝観できる。築山に建つ茶室「飛濤亭」（重文）などもみどころ。

★大型Ｐ：仁和寺駐車場　★拝観所要時間：約 40 分（駐車場から受付まで片道徒歩約 5 分）

東本願寺 御影堂門　「京の冬の旅」初公開

～「お東さん」の入口　日本一高い木造山門初公開！～

真宗大谷派の本山で、正しくは「真宗本廟」。世界最大級の木造建築・御影堂など諸堂が並ぶ境内の入口に聳える御影堂門（重文）は、明治４４年の再建。高さ約２７ｍの日本一高い木造山門で、上層には釈迦如来坐像と弥勒菩薩像、阿難尊者像が安置されている。竹内栖鳳が描く予定であった幻の天井画「飛天舞楽図」草稿（複製）も特別展示。また楼上からは東山連峰を望み、京都のメインストリート・烏丸通や市街を見下ろす眺望が楽しめる。

★大型Ｐ：なし（烏丸通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 30 分（乗降場所から受付まで徒歩すぐ）

東寺 五重塔　*～京都の象徴（シンボル）　日本一高い五重塔～*

世界文化遺産に登録された真言宗総本山。平安京造営時に創建され、のちに弘法大師空海に下賜された。江戸時代再建の五重塔（国宝）は、高さ約５５ｍの日本一高い木造塔である。特別公開の初層内部は極彩色の文様で彩られ、大日如来に見立てた心柱を囲んで金剛界四仏が安置されている。また薬師三尊像を祀る金堂（国宝）、２１体の仏像が立体曼荼羅を形成する講堂（重文）など密教美術の宝庫といわれる諸堂も拝観できる。

★大型Ｐ：東寺駐車場（※但し毎月 21 日の弘法市が開催されている場合は利用不可）　★拝観所要時間：約 40 分

醍醐寺 三宝院　「京の冬の旅」27年ぶりの公開

～天下人の栄華を偲ぶ建築美と秘仏・弥勒菩薩像～

貞観16年（874）、理源大師聖宝が開いた真言宗醍醐派総本山で、世界文化遺産。三宝院は歴代座主が居住する「本坊」にあたる。表書院（国宝）から望む庭園（特別名勝・特別史跡）は、豊臣秀吉など天下人が代々所持した名石「藤戸石」をはじめ豪壮な石組と刈込が見事な桃山時代を代表する池泉式庭園である。今冬、快慶作の優美な弥勒菩薩坐像（重文）を安置する弥勒堂（重文）を特別公開。また「醍醐棚」で知られる奥宸殿（重文）では、秀吉愛用の「金の天目茶碗と天目台」などの寺宝も展示される。

※１月１４日（金）は拝観休止

★大型Ｐ：醍醐寺駐車場（有料、予約不要・先着）　★拝観所要時間：三宝院 約40分、「伽藍エリア（金堂など）」をゆっくり拝観される場合は+15分程度（駐車場から受付まで片道徒歩約２分）

僧侶がご案内する特別拝観　**西本願寺 書院**

～国宝・重文の宝庫　華麗なる桃山文化の粋～

浄土真宗本願寺派の本山で、正しくは「龍谷山本願寺」。国宝・重要文化財の建造物が多数残されており、今回は法話とともに僧侶のご案内で特別に拝観できる。

書院（国宝）は、桃山時代の豪壮華麗な書院造を代表する大建築。２０３畳敷きの対面所「鴻の間」や「雀の間」「雁の間」、白書院の「孔雀の間」など意匠を凝らした幾つもの部屋が並び、渡辺了慶一派や円山派による美しい金碧障壁画や重厚な彫刻で飾られている。また現存最古の北能舞台（国宝）、南能舞台（重文）、「虎渓の庭」（特別名勝）などもみどころ。

※１月２５日（火）～３月１４日（月）の期間中設定日（設定日は別紙カレンダー参照）

★大型Ｐ：西本願寺北駐車場（無料、予約不要・先着）　★拝観所要時間：約 60～70 分（駐車場から受付まで片道徒歩約１０分）

僧侶がご案内する特別拝観　**醍醐寺 五重塔**

～千年の古塔　荘厳な密教空間～

度重なる戦火で醍醐寺の堂塔伽藍が失われた中、唯一焼失をまぬがれ創建当時の姿を伝える五重塔（国宝）。天暦５年（951）に建てられた京都府内最古の木造建造物で、高さは約３８m、上の相輪部が全体の３分の１を占めてバランスがよく、屋根の大きさが上層ほど徐々に小さくなる安定感のある姿が美しい。特別に拝観できる初層内部には、仏像は祀らず、塔を貫く心柱の覆板に胎蔵界・金剛界の両界曼荼羅が描かれている。

✿写経つき：鎮守社・清瀧宮拝殿にて写経の後、拝観となります

※１月２９日（土）・３０日（日）、２月２７日（日）・２８日（月）、３月１２日（土）・１３日（日）の６日間の公開

★大型Ｐ：醍醐寺駐車場（有料、予約不要・先着）　★拝観所要時間：五重塔 約30～40分、「伽藍エリア（金堂など）」をゆっくり拝観される場合は+15分程度（駐車場から受付まで片道徒歩約５分）

※定員、設定回数が限られるため、基本的には５名様までの小グループでのご予約となります。

「第56回 京の冬の旅」僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺　書院・境内地
設定カレンダー

色付きの部分が設定時間です

○所要時間：各回　約60分
○定員：各回　40名

1月		10:00	11:00	13:30	15:00
29	土	40名	40名		
30	日	40名	40名		
31	月				
2月		10:00	11:00	13:30	15:00
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土	40名	40名		
6	日	40名	40名		
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金祝	40名	40名	40名	40名
12	土	40名	40名		
13	日	40名	40名		
14	月				
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土	40名	40名		
20	日	40名	40名		
21	月				
22	火				
23	水祝	40名	40名		40名
24	木	40名	40名		
25	金	40名	40名		
26	土	40名	40名		
27	日	40名	40名		
28	月	40名	40名	40名	40名
3月		10:00	11:00	13:30	15:00
1	火				
2	水				
3	木	40名	40名		
4	金				
5	土		40名		40名
6	日	40名	40名		40名
7	月				
8	火			40名	40名
9	水				
10	木				
11	金			40名	40名
12	土				40名
13	日	40名	40名		40名